

もりかつ レポート



2024年 8月3日(土)

天 気：晴れ
参加者：35名

次回の活動予定 9月8日(日)

森の手入れ

- ・植物調査
- ・植生管理（外来植物の抜き取り）
- ・子ども虫隊 ※軍手や長靴、虫取り網などは各自で
- ・樹名札の取り付け

自由活動

やってみたいことがあれば、お気軽にご連絡ください。

昼食 各自で準備

※参加人数等により内容を変更する可能性があります。

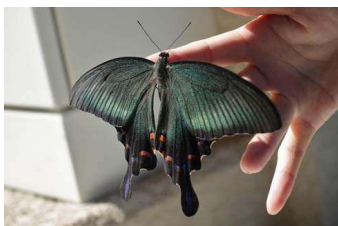
■ 森の手入れの記録

子ども虫隊（昆虫調査）

午後から調査開始。モンキアゲハやカラスアゲハ、スズメガの仲間、キムネクマバチなど様々な昆虫が蜜や花粉を求めてクサギの花に飛来。水場の近くでは数種類のトンボが見られました。



シオカラトンボはなぜ「塩辛」？



カラスアゲハ

植生管理

エントランス周辺で外来植物を抜き取り。地道な努力が実り、植栽したチガヤによる草原が成立した場所も見られます。



チガヤ草原

■ ミーティングの記録

セミナー情報の共有「里山の長期モニタリングから、これからの保全管理を考える」（8月24日13:30～）

場所：アクリエひめじ 主催：植生研究グループ無名ゼミ

今日の生きもの

※同定中のものも含む

植 物

（花）ユウスゲ、コマツナギ、ヌルデ、イヌザンショウ、カワラナデシコ、スズサイコ、クサギ、キキョウ

（実）クリ、コナラ

昆虫類

リスアカネ、シオカラトンボ、オオシオカラトンボ、ショウリョウバッタ、ショウリョウバッタモドキ、ウラギンシジミ、カラスアゲハ、モンキアゲハ、クロアゲハ、アゲハ、ミヤマカラスアゲハ、キタキチョウ、アゲハモドキ、カナブン、キムネクマバチ、オオカマキリ（幼体）

（声）ミンミンゼミ、ツクツクボウシ、ヒグラシ

鳥 類

（声）アオゲラ、ウグイス

爬虫類

ニホントカゲ、ニホンカナヘビ

ライトトラップの記録

シンジュサン、キイロスズメ、コクワガタ、ノコギリカミキリ など



シンジュサン



キイロスズメ



スズサイコ

竹筒トラップづくり

筒の中で子育てするハチの仲間を観察するため、太さの異なる竹をシュロ縄で束ねて竹筒トラップを製作。いくつかの竹の中では、保管していた間に子育てがすでに始まっていました。



たくさんのトラップが完成



竹筒の中には幼虫と花粉

■ 活動報告会とライトトラップの記録

報告会

独自に行った調査や観察の記録などの成果報告。4名からの発表がありました。みなさん熱心に発表を聞き、質問も活発で有意義な報告会でした。

発表1 シンジュサンの羽化の観察記録

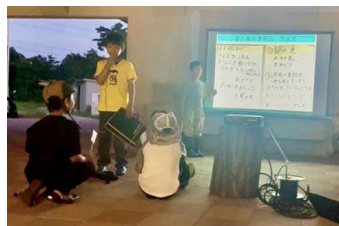
発表2 オオミズアオの羽化の観察記録

発表3 ルリタテハを捕まえるのが難しい理由

発表4 生きものの記録ネガフィルムのデジタル化



手書きの発表資料



活動の成果を報告中

ライトトラップ調査

エントランスと主園路の2か所で実施。投光器や蛍光灯とブラックライトで昆虫を呼び寄せます。ガの仲間やカミキリムシなど甲虫の仲間など多くの種類の昆虫が集まってきました。森の中ではコクワガタ、草原では様々なバッタ類も見つけました。



ライトトラップに集まってくる昆虫をじっくり観察

